

臨床研究部長に吉田守美子先生が就任されました

2022年9月より臨床研究部長を拝命いたしました。

前任地は徳島大学大学院 血液・内分泌代謝内科学で、内分泌・代謝内科を専門としております。男性ホルモンと心血管病・骨格筋の研究を中心に、糖尿病や肥満、老年医学の研究にも従事しております。みなさんどうぞよろしくお願いいたします。

主な研究テーマ

●性差医療

性別によってかかりやすい病気が違いますし、同じ病気でも病状が異なることがあります。こうした病気の性差には性ホルモンが深く関与しています。男性ホルモン（アンドロゲン）を中心に、なぜ性別によって違いが生じるのかを研究しています。



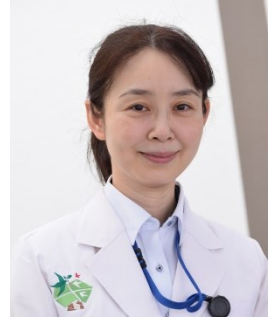
臨床研究部のスタッフ達と

●サルコペニアとダイナペニア

糖尿病など合併症として骨格筋の質や量が注目されています。サルコペニアやダイナペニアの早期診断マーカーや予防方法の研究を行っています。

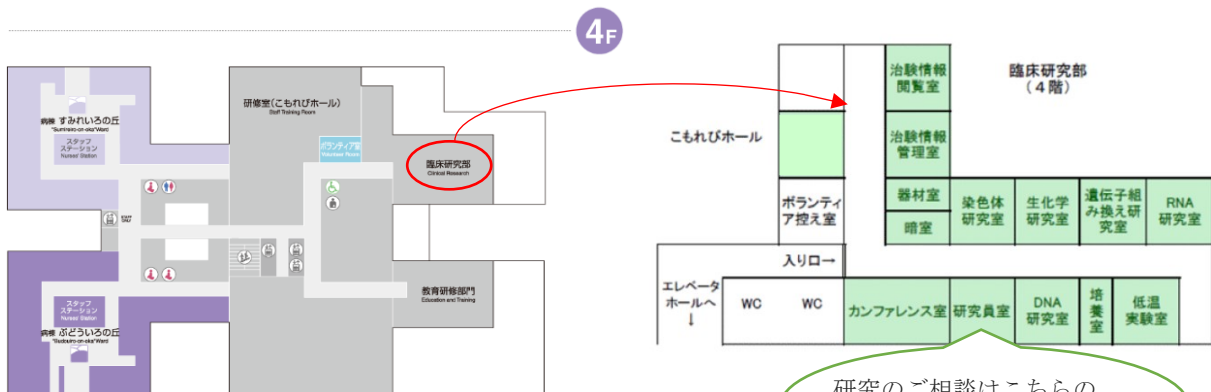
臨床研究部ではみなさんの研究の支援も行っています。

研究の立案から文献検索、研究に必要な手続き（倫理審査）、同意取得方法など臨床研究開始のサポート、統計解析、学会発表、論文投稿など、お気軽に4階の臨床研究部までご相談ください。



臨床研究部について

臨床研究部は、周産期医療研究室、小児ゲノム医療研究室、難治性疾患研究室、病因病態研究室、脈管治療研究室、治験管理室の6室で構成されています。医薬品を開発するための治験支援、院内研究助成制度、院内雑誌編集、研究をはじめの方を対象とした臨床研究部講座など、当院の臨床研究を推進するための活動を行っています。場所は4階の下の図に示すところです。





臨床研究部からのお知らせ

現在、医学雑誌第 10 巻の原稿を募集しています

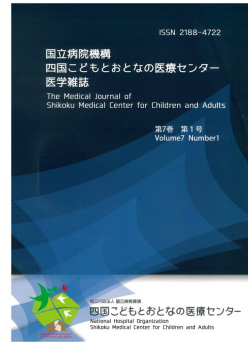
【内容】総説、原著、症例報告、看護研究など

【対象】全職員

【提出期限】2022 年 12 月 1 日（木）期日厳守

【原稿送付先】臨床研究部事務（担当：山下）までメールで送付してください

詳細は投稿規程
をご参照下さい



提出原稿は投稿規程に従って作成してください

当院ホームページ (<https://shikoku-mc.hosp.go.jp/inpatient/journal.html>) からダウンロード
できます。多くの投稿をお待ちしております。

臨床研究部講座のご案内

11 月 10 日（木）17：30～18：00 に 5 階カンファレンスルームで
臨床研究部講座「治験を進めよう」講師：山口知子先生 を行います。
新たな医薬品を保険診療で使えるようにするために必要な治験について
のお話です。

治験に興味をもたれている方、ご参加をお待ちしております。

お気軽にご参加ください。

R4 年度 第 6 回臨床研究部講座

治験を進めよう

講師：山口 知子 先生

2022 年 11 月 10 日（木）17：30～18：00
場所：5 階カンファレンス室

今回は医薬品や医療機器を販売するために必要な治験に関する
お話です。ご興味のある方はお気軽にご受講ください。



現在実施中の治験について

責任医師： 中土井 芳弘（児童精神科）

対象疾患： 統合失調症

対象年齢： 12～18 歳

治験薬/投与方法： SM-13496/経口

開発相/デザイン： 第Ⅲ相/非盲検試験



統合失調症は、こころや考えがまとまりづらくなってしま病気です。そのため気分や行動、人間関係などに影響が出てきます。統合失調症で多く現れる症状は幻覚や妄想です。幻覚とは実際にはないものが感覚として感じられることです。とてもはっきりと聞こえたり見えたりするために、脳の中だけで起きているとは考えにくいものです。妄想とは、明らかに間違った内容を信じてしまい、周りの人たちが訂正しようとしても自分では受け入れられない考えのことです。

この治験で使用される治験薬は、「ラツーダ」という名前で、統合失調症の治療薬として既に海外では 13 歳以上の子どもや大人に使用されています。日本でも大人の患者さんの治療薬として使われていますが、子どもの患者さんではまだ統合失調症の治療薬としては認められていません。

現在国内で、青年期の統合失調症の治療薬として使えるお薬は一種類だけです。「SM-13496」の開発により、統合失調症の患者さんの治療の選択肢が広がることが期待されます。



臨床研究部 News Letter vol.17

発行日：2022 年 10 月 26 日

編集発行：臨床研究部 小児ゲノム医療研究室